

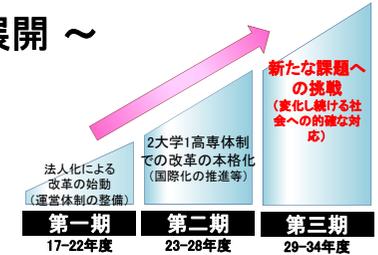
# 公立大学法人首都大学東京 平成29年度 業務実績等報告書（概要）

## 第三期中期計画

～ 一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジを展開 ～

【重点方針】（計画期間：平成29年度から6年間）

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化



## 平成29年度の業務実績等

～ 第三期中期計画期間の飛躍の礎となる取組を推進しました～

第三期中期計画の初年度において重点的に取り組むべきことを明確にしてその具体化を図るとともに、都の施策や時代の変化に対応した創造性ある取組等を推進

➡ 年度計画を概ね達成するとともに、中期計画の達成に向けて着実な第一歩を進めることができました。

### 自己評価結果

	項目数	自己評価				
		S	A	B	C	D
首都大学東京	56	3	16	37	0	0
産業技術大学院大学	20	3	5	12	0	0
東京都立産業技術高等専門学校	24	2	7	15	0	0
法人	30	0	5	24	1	0
合計	130	8	33	88	1	0

- 評価基準
- S・・・年度計画を当初予定より大幅に上回って実施している。
  - A・・・年度計画を当初予定より上回って実施している。
  - B・・・年度計画を当初予定どおり実施している。
  - C・・・年度計画の実施状況が当初予定を下回っている。
  - D・・・年度計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。

### <S評価>

- 首都大
  - アクティブ・ラーニングの推進 【1-01】
  - 教学マネジメントサイクルの展開 【1-06】
  - 障がい者スポーツの普及振興 【1-32】
- 産技大
  - 教育の評価、教育の質改善の取組 【2-07】
  - 社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実 【2-18】
  - アジア諸国等の大学との連携 【2-20】
- 高専
  - 国際化の更なる事業展開に向けた取組 【3-05、3-27】

### <C評価>

- 法人
  - 情報セキュリティ 【4-31】

# 平成29年度の主な実績（首都大）

■ **教育に関する取組** ～豊かな教養・高度な専門性と社会への対応能力を備えた国際的にも通用する人材の育成を目指し、教育改革を推進しました～

## 教育内容・成果

### ■ 教育課程の見直し

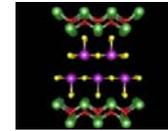
H29年度S項目

対応報告事項

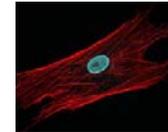
平成30年度の教育研究組織再編成に向け、**全部局のカリキュラム再構築、大学院分野横断プログラム等の準備を完了**するとともに、教育改革推進事業の仕組みを見直し、**能動的な学びを促進するアクティブ・ラーニングを推進**しました。

【主な取組】

- ・カリキュラム・ポリシーを具体化・可視化する**カリキュラムマップ**（学部）や**カリキュラムツリー**（大学院）を策定・公表
- ・大学院分野横断**パイロットプログラム2件（超伝導理工学・生体理工学）**を設計（平成30年度開講）
- ・教育改革推進事業の例：**ラーニング・マネジメント・システム（kibaco）**を利用した**単位の実質化、地域産業と協働したPBL演習**



【超伝導理工学】  
 ・理学研究科（物理、化学）  
 ・システムデザイン研究科（電子情報システム工学）



【生体理工学】  
 ・システムデザイン研究科（機械システム工学）  
 ・理学研究科（生命）  
 ・人間健康科学研究科（ヘルソフ・パフォーマンスサイエンス）

### ■ 多様な学修機会の確保

企業や都等との連携を活かした現場体験型インターンシップの受入先や受入枠を拡充するなど多様な学修機会の提供を一層推進しました。

【三期中期の方向】「本物の考える力」を身につけるための教育を推進

## 教育の実施体制

### ■ 教育改革を推進する取組の強化

H29年度S項目

対応報告事項

IR推進室を新設、教学IRシステムを稼働させ、**全学的にエビデンスに基づいた教学マネジメントに取り組む体制を整備**するとともに、**教育研究活動等の高度化に資する新たな自己点検・評価の実施方法を決定**しました。

【主な取組】

- ・入試や学内成績、大学ランキングの集計・分析
- ・学部の各授業科目の成績分布及び卒業時の学修成果等アンケートの分析結果を各部局へ情報提供  
<分析依頼・分析相談：27件/集計・分析結果の掲載108件>



【AL手法紹介セミナー】



【授業改善ハンドブック】

### ■ 教育の質の改善

「AL手法紹介セミナー」の新規開催や「授業改善ハンドブックVol.2」の発行等、FD活動の更なる活性化を図りました。

<セミナー開催数：8回/参加教員数：185名（前年度比+75名）>

### ■ 博士後期課程等の若手等研究者支援

定員充足率の改善や博士後期課程全体の魅力を高める取組（**博士後期課程の活性化**）を**全学的に推進**し、博士後期課程入学者数の増加につなげました。

【主な取組】

- ・各部局の経済支援制度の公表、国際学術会議派遣制度の拡大に向けた調整
- ・博士研究員制度の創設や修了者のキャリアパス可視化に向けた調査
- ・博士人材の採用動向の把握、都への情報発信の検討
- ・キャリア形成に関する科目の平成31年度開講に向けた検討  
<博士後期課程H30年4月入学者：109名（前年度比+21名）>

【三期中期の方向】教育改革の一層の推進に向けた教学マネジメントサイクルの展開

## 入学者選抜

### ■ 入試改革の推進

アドミッション・センターを設置し、**平成32年度以降実施の大学入学者選抜における基本方針の策定、多様な選抜の拡充**等の取組を進めました。

【主な取組】

- ・学部入試のWeb出願の導入 <全出願者数の7割～8割が利用>
- ・都教委と連携し「第1回都立高校生のための先端研究フォーラム」を開催  
<多様な選抜の募集割合：全募集人員の23.1%（前年度比+2.6point）>

### ■ 入試広報による発信

**学部再編に向け積極的な広報を展開**するとともに、志願者獲得効果の高い地域のガイダンス、留学生向けガイダンス等への参加を拡充しました。

<大学説明会参加者：24,882名（過去最高）>

【三期中期の方向】質の高い学生確保に向けた入試改革の推進

## 学生支援

### ■ ボランティア支援体制の充実

ボランティアリーダーの育成に資するプログラムの拡充、初心者向けイベントの開催、高専生と合同の東京マラソンへのボランティア参加など、学生の課外活動を支援しました。



【スポーツボランティアプログラム】

### ■ 構成員へのきめ細かな支援

セクシャルマイノリティ講演会による理解啓発や学生の通称名使用制度の開始など多様性を踏まえた支援策を実施しました。

### ■ キャリア形成支援

OBOGネットワークの拡大、日野キャンパスでの行事開催回数の増加など、学生の適切な進路選択につなげる支援を強化しました。

【三期中期の方向】東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（※）におけるボランティアリーダーの育成

※以下、東京2020大会という。

# 平成29年度の主な実績（首都大）



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

## ■ 研究に関する取組 ～学術研究の動向や社会ニーズの変化に迅速・柔軟に対応し、世界をリードする重点的な研究を支援・強化しました～

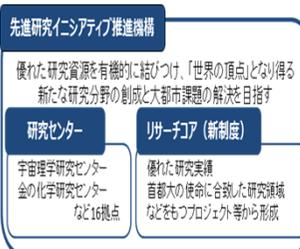
研究

### ■ 重点研究分野の推進

基礎研究力の維持・強化、大都市課題解決に資する研究の推進を図るため、**首都大が強みや特色を有する研究を重点的に支援**しました。

【主な取組】

- 研究IRを活用した研究力分析結果に基づく支援
- 先進研究イニシアティブ推進機構**を設置し、研究センターに加え、新たな強みとなり得る研究グループ「**リサーチコア**」の支援を開始
- <サービスロボットインキュベーションリサーチコアを設置>**
- 新たな研究広報季刊誌「Miyacology」の発行



【先進研究イニシアティブ推進機構】

### ■ 研究支援体制等の整備

URAのプロジェクトマネジメント力の向上や、海外の有力な研究者との連携強化等に向けた取組を進め、**研究支援力を強化**しました。

【主な取組】

- URAと職員の機能横断型チームの組成
- 国際シンポジウム開催支援や外国人研究者招へい支援
- 科研費採択率30%達成に向けた講習会、申請書作成支援等
- 研究機器共用センター（仮称）**の設立準備委員会の設置



【水素社会のための第2回国際シンポジウム】

【三期中期の方向】 基礎研究を深化、大都市課題の解決に資する研究を推進

## ■ 社会貢献に関する取組 ～東京2020大会も見据え、専門的知見や教育資産を都政・都民へ発信・還元しました～

社会貢献

### ■ 東京2020大会への取組

H29年度S項目

障がい者スポーツに係る教育プログラムや研究を進めるとともに、**障がい者スポーツの普及振興を図るイベントを拡充・実施し、裾野を拡大**しました。

【主な取組】

- 原則、前期末試験の東京2020大会開催前日までの終了決定
- 全学共通科目「ホラティアとリーダーシップ」の開講準備**（平成30年度開講）
- 車椅子使用に係る研究2件の推進、東京2020大会成功とレガシーの継承に資する**学際プログラム3件の支援**
- 車椅子バスケットみやこ祭やホラティア教室**の新規開催



【障がい者スポーツの普及振興を図る行事（ホラティアと車椅子バスケット）】

【三期中期の方向】 都民生活の質的向上に向けた取組の充実

### ■ 「Premium College（仮称）」の開設準備

生涯現役都市の実現に向け、都と法人が連携して推進する取組の一環として、シニアの学びに対する意欲に応える教育プログラムを提供する「**Premium College（仮称）**」開設に向けた準備を進めました。

開講予定	平成31年4月 南大沢キャンパスにオープン
対象	学ぶ意欲にあつた50歳以上のシニア
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講義</li> <li>■ゼミナール</li> <li>■フィールドワーク（現場での見学など）</li> <li>■多様なプログラムを提供</li> </ul>
キャンパスライフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専用ラウンジ、図書館等の施設利用</li> <li>■専任スタッフによるサポート</li> <li>■メールアドレスの付与 など</li> <li>■多様なキャンパスライフを提供</li> </ul>

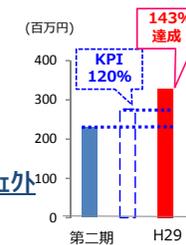
【Premium College（仮称）の概要】

### ■ 都連携と産学公連携の推進

都への施策提案、自治体職員向け研修、地域支援プロジェクトを実施するとともに、外部資金獲得や大学発ベンチャー創生の支援を推進しました。

【主な取組】

- 都関連大型事業：**火山災害対策研究、島しょエリアの産業活性化プロジェクト**
- 東京TYFG※等との協定締結、荒川区との包括連携協定締結**
- 共同研究・受託研究の獲得額：**第二期平均金額比143%**
- 大学発ベンチャー：**3社創設（計10社）** ※現在、東京きらぼしFG



【共同研究等実績】

## ■ グローバル化に関する取組 ～国際社会で活躍できる人材を育成するため、国際通用性のある教育研究環境の整備を進めました～

グローバル化

### ■ 海外の大学等との連携

**活発な教育交流・研究交流が見込まれる大学等を指定する交流重点校制度を創設**するとともに、**新たな国際交流プログラムの立上げ**等、教育・研究面で連携を拡充しました。

【主な取組】

- 交流重点校：**トムスク国立大学、レスター大学**
- モンゴル国立大学、シアクアラ大学**と全学協定締結
- グローバル・コミュニケーション・キャンパス（GCC）の実施を決定し、**6学部計8件のプロジェクトを採択**（平成30年度開始）
- AIMSプログラムの参加分野拡大申請



【トムスク国立大学訪問】

### ■ 学生の海外派遣及び外国人留学生の拡大

国際副専攻コースの着実な実施や留学意欲向上のためのがっつり・講座の強化により、**学生の海外派遣を促進**するとともに、国内外での積極的なプロジェクト活動や国際学生宿舍開設等の受入環境整備により、**外国人留学生の受入拡大**に取り組みました。

**<派遣学生数：245名/受入留学生数：519名>**

【主な取組】

- 国外9都市での日本留学フェア出展
- <相談者数：900名（前年度比+188名）>**



【国際学生宿舍「グローバルハウス調布」】

【三期中期の方向】 国際的な教育研究環境構築の推進

対応報告事項

# 平成29年度の主な実績 (産技大)



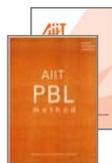
産業技術大学院大学  
ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY

## ■教育に関する取組 ～産業の活性化に貢献する高度専門職業人の育成に向け、先進的教育手法を更に充実させました～

教育内容・実施体制

### ■教育内容

- 時代の変化に応じた人材を養成するため、将来構想検討委員会等を設置し、教育体制の在り方検討、加圧見直し等を進めました。
- PBL型教育に関するノウハウをまとめた「**AIIT PBL Method**」(日本語版・英語版)を作成しました。



【AIIT PBL Method】

### ■教育の評価・改善

H29年度S項目

- 毎月の年度計画進捗管理会議等により**PDCAサイクルを強化**しました。
  - 学生からの授業評価結果に対応するとともに、教育の質向上のためFDフォーラムを開催し、教育内容・方法について改善を進めました。
- <FDフォーラム教員参加率：100% (後日視聴含む)>  
<授業評価アンケート 全授業評価平均：4.28 (5段階評価)>

【三期中期の方向】時代の変化を反映した教育体制の検討

入学選抜

### ■志願者獲得に向けた効果的な広報活動の展開

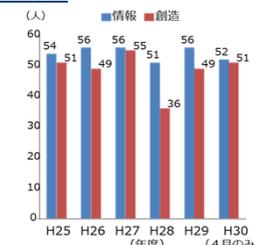
対応報告事項

専門職大学院にふさわしい学生の確保に向けた活動の展開により、**2専攻とも志願倍率が改善し、平成30年度は4月入学者のみで定員を確保**しました。

<志願倍率：情報7-技術7専攻1.76倍、創造技術専攻1.42倍>

#### 【主な取組】

- メール集の活用等による教育成果の効果的な発信
  - 教職員やリビジョンによる企業・大学等(計40社)の訪問
  - 入試情報のWebサイトやSNSを通じた積極的な周知
- <大学説明会実績：19回・参加者：295名>  
<単位バンク生からの正規入学者数：22名>



【三期中期の方向】成果を的確に把握し大学の強みを発信

【入学者数推移】

## ■社会貢献に関する取組 ～社会人の学修ニーズに応える学びの仕組みの構築や学修コミュニティの形成を推進しました～

社会貢献等

### ■社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実

H29年度S項目

- AIITマンスリーフォーラムの開催により、**専門職コミュニティの形成を推進**しました。
- <学外来訪者：延べ1,000名超>

【AIITマンスリーフォーラムの参加者数】(単位：人)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加者数	2,103	1,721	1,317	1,154	1,333	1,593

- リカレント教育を促進する学修環境の一貫として、**2つの修了生コミュニティが発足し、学びの場を拡大**しました。

【三期中期の方向】社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実

- 生涯現役都市の実現に向けた取組の一環として、起業に挑戦するシニア層を後押しし、起業のための高レベルの知識・スキルの修得を目指す、**AIITシニアスタートアッププログラムを構築し開設準備**を進めました。(H30年度夏季開講予定)

【AIITシニアスタートアッププログラム開講スケジュール・カリキュラム概要】



### ■都政との連携

- 都区等の後援を得て、新たに**両専攻合同で「ITとデザインエンジニアリングソリューションコンテスト」を開催**し、産技大の専門分野をPRしました。

- テーマ：『東京の防災』
- 応募：全28点、最優秀賞1点、佳作2点決定

【コンテスト最優秀賞作品】



## ■研究に関する取組 ～高度専門職業人の育成に資する研究を推進しました～

研究

### ■開発型研究の推進

**専攻横断型の開発型研究所を3つ新設し、合計4つの研究所で研究分野の深化及び研究成果の社会への還元**を図りました。

<開発型研究所：計4つ設置>

- ネットワークサービスプラットフォーム研究所
- 新・人工知能とサービス科学
- 新・経営倫理研究所
- 新・戦略的機能イノベーション研究所

【ネットワークサービスプラットフォーム研究所 開発ロボット例】



【三期中期の方向】教育手法の研究に関する成果の発信

## ■グローバル化に関する取組 ～先進的な教育手法等を世界へ発信しました～

グローバル化

### ■アジア諸国等の大学との連携

**アジア諸国の大学等との連携を深め、活動成果の発信**をしました。

#### 【主な取組】

- アジア諸国等とグローバルPBLを実施
- JAIF事業実績をまとめた冊子「**JAIF Project Final Report**」を作成しASEAN事務局へ提出、冊子を基にアジア諸国にて成果報告会を行い、成果の普及啓発を推進
- PBL成果等に関する**海外での大学共催セミナー実施**
- アジア諸国等からの視察を多数受け入れ**、産技大の教育内容等をPR

【三期中期の方向】グローバルに活躍する高度専門職業人の育成

H29年度S項目



【JAIF Project Final Report】

# 平成29年度の主な実績（高専）

## ■ 教育に関する取組（教育の内容、学生支援） ～産業界のニーズに応える新たなカリキュラムを展開しました～

### 教育内容

#### ■ 新たな職業教育プログラムの実施

産業界や東京都のニーズに応える2つの**職業教育プログラム**の内容を充実し、**ものづくり技術者育成に向けた教育を推進**しました。

【主な取組】

- 「情報セキュリティ技術者育成プログラム」**<履修生30名>**
  - 産学協働で独自開発した演習教育システムで人材育成を開始、連携企業等ヘインターンシップを実施（12社）
  - 企業等との協定を新規締結（5件）
- 「航空技術者育成プログラム」**<履修生15名>**
  - JAL/ANAの協力を得た現場実践型講座を実施するなど、教材や施設環境を整備



【三期中期の方向】 新たな職業教育プログラムを展開

### 教育体制・学生支援

#### ■ 課題発見・解決型実践的教育の展開

「品川C」学外コンテスト参加を正課学習へ組み込む等により、**一般科目を含め全コースで課題発見・解決型実践的教育の展開**を進めました。

#### ■ 多様な課外活動を支援

- 「荒川C」**エンジニアリングデザインルーム**を整備し、本格的なエンジニアリングデザイン教育を開始しました。  
【エンジニアリングデザインルーム】
- 公募提案方式による課外活動支援を開始**しました。
- 「品川C」プログラミング研究部（※1）、デザコン研究部
- 「荒川C」人力飛行機研究部、ロボット研究同好会（※2）
- <※1：プログラミングコンテスト競技部門 優勝>**
- <※2：高専味コン関東甲信越地区大会2017 特別賞受賞>**



【三期中期の方向】 創造的な技術者の育成、安心・充実した学生生活の支援

【プログラミングコンテスト優勝】

## ■ 教育に関する取組（入学者選抜）

### 入学者選抜

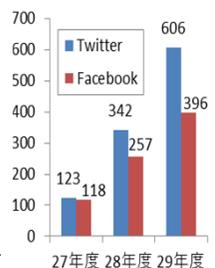
#### ■ 多様な学生の確保

意欲ある志願者確保のため多様な取組を実施しました。

【主な取組】

- 地元自治体と連携した**特別推薦入試制度の募集人数拡充**
- 「高専広報戦略（第三期中期計画前半）」の策定
- 女子中学生向け広報活動の充実
- WEBやSNSによる多彩で迅速な情報発信の実施

**<全体・女子学生志願者数、HPアクセス数、SNSフォロワー数 増>**



【SNSフォロワー数】

【三期中期の方向】 ものづくりに意欲ある学生の確保

## ■ 研究に関する取組 ～ものづくり人材の育成に資する研究を推進しました～

### 研究

#### ■ 研究活動の活性化、若手教員への支援

科研費獲得のためのセミナー等を開催し、科研費の応募者が増加しました。

#### ■ 東京2020大会に資する研究推進

東京2020大会に資する研究として、「快適環境マップの開発」を採択しました。

#### ■ 首都大・産技大との共同研究

専攻科生と指導教員が共同研究代表者となり、専攻科生が立案した研究課題を遂行するため、首都大、産技大の教員・大学院生が指導・助言を行う新しい共同研究事業（第三期共同研究）

【三期中期の方向】 研究活動の活性化が構築されました。

## ■ 社会貢献に関する取組 ～地域と連携して、ものづくり人材を育成しました～

### 社会貢献

#### ■ 若年層の情報セキュリティ技術者教育

- 社会的賛同を得て支援体制を構築し、**中学生向けに体験型の情報セキュリティ研修を開催**しました。

**<後援団体・企業19組織>**

**<参加者のうち11名受検・合格>**



【中学生向け情報セキュリティ研修】

#### ■ 地域における社会貢献等

品川区、警視庁等との連携事業として、**高専教員と学生が開発した体験システムを使用して、品川区内の中小企業者向けにサイバーセキュリティ講習会を実施**しました。



【地域中小企業サイバーセキュリティ対策支援】

【三期中期の方向】 ものづくり技術者支援の充実

## ■ グローバル化に関する取組 ～世界で活躍できる技術者を育成しました～

### グローバル化

#### ■ 国際的に活躍できる技術者の育成

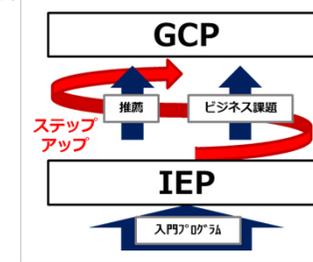
**接続を明確にした2つの海外体験プログラムに再編し、より実践的な内容に強化した研修**を実施しました。

【主な取組】

- 新「グローバル・コミュニケーション・プログラム（GCP）」を実施**<参加者実績：30名>**（2大学1高専学生が連携し海外フィールドワーク等）
- 「インターナショナル・イノベーション・プログラム（IEP）」を実施**<参加者実績：40名>**（海外企業訪問、語学研修、ホームステイ等）

対応報告事項

H29年度S項目



【三期中期の方向】 グローバル化に対応できる技術者教育の推進

# 平成29年度の主な実績（法人）



公立大学法人 首都大学東京

## ■ 業務運営の改善に関する取組 ～第三期中期計画期間の飛躍の礎となる取組を推進しました～

戦略的な法人運営

### ■ トップマネジメントの強化

・社会経済のトレンドや経営トップ層の意向を踏まえ、**大学・高専・法人が目標を共有して検討を重ね、速やかに「GOS」関連事業（※）を企画・立案**することができました。

【主な取組】

・経営審議会で「GOS」関連事業の立案を継続審議、計画・KPI等の進捗状況を確認  
・教学IRの導入、例月の計画進捗管理など各校が教学マネジメントを強化

### ■ 組織体制の整備・強化

・首都大の教育研究組織再編成に伴う組織の整備、「GOS」の取組を支える組織の整備やグローバル化に対応する人材の育成など、組織や人材の基盤整備を進めました。

**<TOEIC600点以上の職員比率：18.7%（前年度比+1.9point）>**

【三期中期の方向】戦略的法人運営体制の強化

### 【GOS関連事業概要】

G  
Globalization

国際社会の第一線で活躍できるグローバルリーダーを育成するとともに、世界の大学等との連携を展開するための取組を実施  
→ 各大学・高専のGlobalizationの更なる推進に向け各種取組を企画・立案

O  
Only one

オンリーワンの強みとなり得る取組を最大限に伸ばすとともに、東京を世界で最も魅力ある観光都市にするための取組を実施  
→ 各大学・高専のオンリーワンの強みを整理するとともに、大都市東京の課題解決に向けた提言や人材育成を目指す「都市課題戦略機構」の設置に向けた取組を推進

S  
Senior

人生100年時代において、首都東京を生涯充実社会のモデル都市にするための取組を展開  
→ 「首都大学東京Premium College（仮称）」、「AIITシニアスタートアッププログラム」の開設に向けた取組を推進

※「GOS」関連事業とは、各大学・高専が世界で光り輝く存在となるとともに、各大学・高専が持つ英知を結集し、東京を世界の都市とするための重要施策に貢献することを目指し、G（Globalization：グローバル化）、O（Only One：オンリーワン）、S（Senior：シニア）の各分野で重点的に推進する事業のこと。

## ■ 業務運営の改善に関する取組（2大学1高専連携）

2大学1高専連携

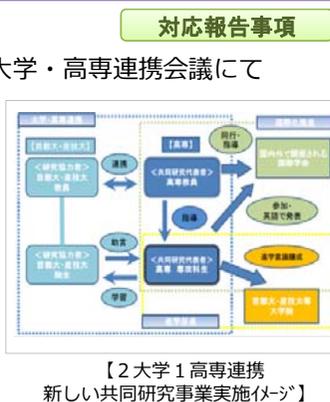
### ■ 2大学1高専の連携の推進

これまでの連携事業を着実に実施するとともに、大学・高専連携会議にて2大学1高専の連携の在り方等について組織的な検討を行い、新たな事業を企画しました。

【主な取組】

- ・新「グローバル・コミュニケーション・プログラム（GCP）」を実施
- ・「補助教材動画コンテスト」を実施
- ・「**新しい共同研究**」（第三期共同研究）を検討

【三期中期の方向】2大学1高専に連携の促進



## ■ 情報の提供に関する取組

戦略的な情報発信

### ■ 法人、各学校ごとの戦略的な情報発信

より効率的・効果的な情報発信を行いブランド力向上させるため、**広報体制を各学校と法人で整理し、それぞれの広報機能強化**に取り組みました。

【主な取組】

- ・法人全体の**ブランディング戦略**の検討に着手
- ・首都大の新たな大学マークやスクールカラーの活用、**「学生広報チーム」立上げ**等による大学の情報発信
- ・産技大、高専の志願者獲得に向けた多様な情報発信
- ・実績・計画の概要資料の公開開始、財務レポートの充実等の法人経営情報の発信強化



【学生広報チーム任命式（首都大）】

【三期中期の方向】戦略的な広報による認知度及びブランド力の向上

## ■ その他業務運営に関する取組

環境配慮・施設整備

### ■ 省エネルギー対策の推進

エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会を中心としたエネルギーマネジメントを行い、**法人全体でエネルギー消費量を低減**することができました。

**<都条例による特定温室効果ガス基準排出量に対し28.3%削減>**

### ■ 施設・設備の計画的な更新・整備

牧野標本館拡充工事など施設・設備の計画的な更新を進めるとともに、将来の工学分野の教育研究拠点強化に向け、事業効果調査や近隣企業等へのヒアリング等を行い、キャンパス整備に係る**基本構想を作成**しました。

【三期中期の方向】温室効果ガスの着実な削減、施設・設備の計画的な整備

情報セキュリティ

### ■ 情報セキュリティ体制の強化、意識向上

情報セキュリティ改善計画（平成28年度策定）に基づき、外部専門機関の**CSIRT支援委託導入、標的型メール攻撃訓練、検疫システムの導入**等の取組を着実に実施しました。

※ H29年度に**多発した個人情報漏えい事故**の反省に立ち必要な対応を行いました。

- ・ハード対策：**組織メールアドレス作成、メール誤送信防止ソフト導入**
- ・ソフト対策：個人情報保護・情報セキュリティに関する注意喚起、**電子メール送信時ルール制定**

【三期中期の方向】情報セキュリティの更なる強化

対応報告事項

H29年度C項目